

## 資料 6

# 広島県庄原市における 地域資源循環の取組

～「青刈りとうもろこし」を  
活用した耕畜連携体制～

株式会社vegeta

谷口 浩一





---

# はじめに

お時間をいただきありがとうございます。  
本日は弊社での飼料作物栽培についてお話しします。

トピック 1 【会社紹介】

トピック 2 【青刈りとうもろこし栽培に取り組むまで】

トピック 3 【令和4年度 栽培実績】

トピック 4 【これからと課題】

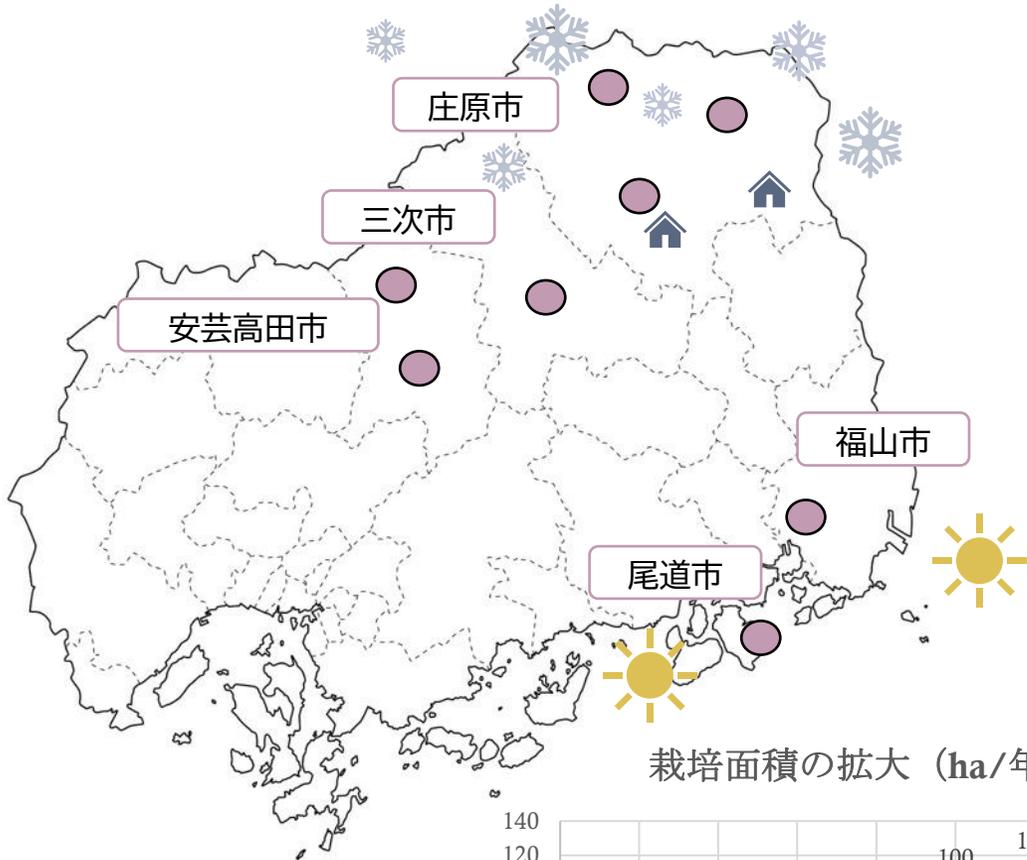
---

# 1、【会社紹介】

株式会社VEGETAについて



## 株式会社vegeta 生産圃場と拡大状況



栽培面積の拡大 (ha/年)



## どこにある？

- 本社は庄原市東城町
- 畑は尾道市因島（標高0m）から、庄原市東城町小奴可（標高約800m）まで



- 標高差を利用した気候の差で、主にキャベツの年間リレー出荷を可能にしています
- 総面積は130ha以上。さらに拡大中！

農地を継いで  
東城町で就農！



最先端の農業の  
ためドローンの  
販売も！



# 株式会社 VEGETEの歴史

- ・1986年4月 「谷口農園」として20歳の時、農業を始める  
～ほうれん草の雨よけ栽培と原木シイタケの栽培～
- ・1994年1月 「有限会社ベジタファーム東城」として会社を設立
- ・2015年1月 「株式会社vegeta」に社名を変更
- ・2016年 広島県のキャベツ推進事業を受け、15haの土地でキャベツ栽培に着手
- ・2018年 関連会社として「株式会社co-de」を設立。ドローンスクールの運営と農作業現場へのドローン普及にも携わる。
- ・2019年 スマート農業推進事業の実証地として選ばれる
- ・2020年 農地総面積100ha以上に成長
- ・2021年 加工用トマトの栽培を本格的に開始
- ・2022年 飼料作物の栽培を開始

# 何を育てている？



## キャベツ

広島県各地の畑で  
年中栽培しています。

お好み焼きの「徳川」  
やスーパーマーケットの  
「エブリイ」などへ出荷  
しています。



## 麦

キャベツの裏作として、  
冬に育てています。

(10月～種まき、6  
月～収穫)

麦わらを畑に混ぜて  
耕すことで、よりふわふ  
わの土になります！



## 大根

2021年から生産拡  
大中です。主に、つま  
ものになる加工用の  
大根です。

## トマト

ケチャップやトマト  
ジュースで有名なカゴ  
メ株式会社さんとコロ  
ボして、加工用トマト  
の生産をスタート！

## その他

ネギ、カボチャ、トウモ  
ロコシ、スイカ、サツマ  
イモ、飼料作物など、  
新品目にもどんどん挑  
戦中！



面積の拡大とともに、すべての畑の管理  
が難しくなってきました…そこで、  
スマート農業を導入！

- ・面積や品目を増やしながらか拡大してきたが、限界が…
- ・なるべく少人数で省力化した農業ができるようになりたい



# スマート農業機械を使用した「機械化一貫体系」の流れ

(例：キャベツ)

自動収穫機による収穫  
(主に冬季)



自動操舵システム搭載の  
オートトラクター

ZAIKOのQRを使用した  
苗管理



①アグリノートアプリから  
作業内容を入力する



③作業指示が社員  
それぞれのアプリへ

②栽培管理システムで  
作業記録の管理・確認

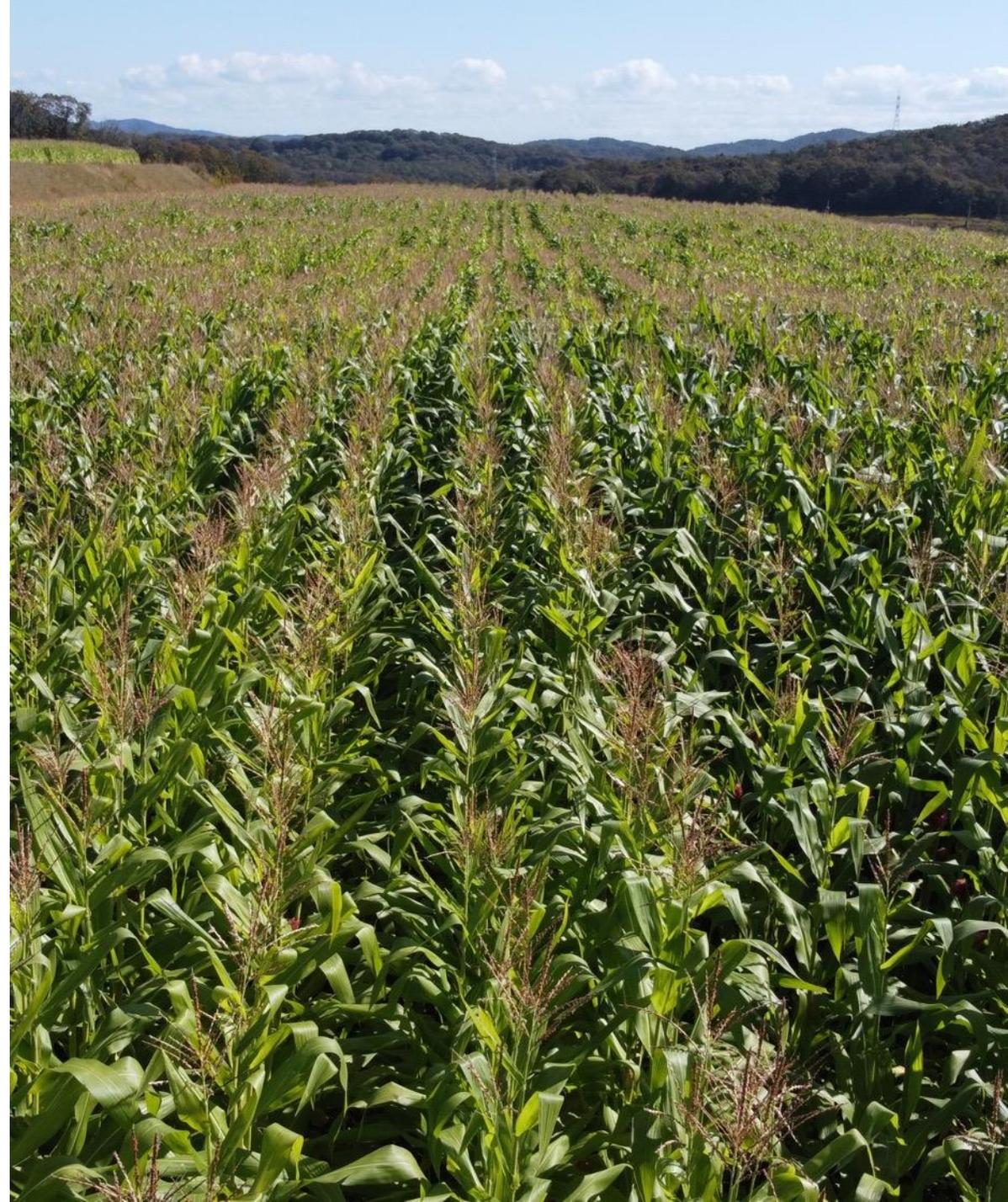


ドローンによる  
見回り & 収量予測 & 農薬散布

---

## 2,【青刈りとうもろこし 栽培に取り組むまで】

---



# 青刈りとうもろこし栽培に取り組んだ経緯

## 畜産農家の課題

コロナ禍、地球温暖化、国際紛争等による  
飼料価格の急激な高騰

酪農家の経営を圧迫

栽培に必要な農業機械、労働力がなく、  
自給飼料の生産に新規で取り組むのは難しい

飼料用とうもろこしの  
栽培提案



## vegetaの課題

連作障害による  
キャベツの収量低下

輪作可能な品目、また地力強化のための  
有機堆肥を探していた

今までに栽培していなかった時期の  
栽培・販売で収益向上を目指したい

ネコブ  
病



ロールベールによる  
サイレージ



有機堆肥



地域内資源循環により安定した経営を図る

# 畜産生産力・生産体制強化対策事業の利用

栽培を始めるにあつたての課題

中途採用1名、新卒採用2名

1, 生産に必要な圃場の確保

2, 生産に必要な機械の確保

3, 生産に必要な人材(オペレーター)の確保

汎用型微細断飼料収穫機



・実の部分も含め細かく裁断  
・1台でロール化までが可能



自走ラッピングマシーン



# 畜産生産力・生産体制強化対策事業の利用

栽培を始めるにあつたての課題

4, 販売先の確保

5, 栽培方法の確立

コンソーシアムを形成

構成メンバー

【栽培】ベジタ  
【販売】広島県酪農業協同組合、JA西日本くみあい飼料株式会社、庄原市酪農振興協議会、酪農家  
【普及】庄原市、広島県北部畜産事務所  
【指導】雪印種苗株式会社岡山営業所

事前に何が、  
どのくらい  
の量欲しいのか  
検討する。

種苗メーカー  
などからの指  
導を受け、栽  
培管理を行う。

栽培農家

畜産農家

飼料販売  
会社

---

3,  
【令和4年度の栽培実績】

---

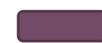


# 年間栽培スケジュール

栽培地区（標高）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
三次市向江田町（250m）				🌱	—	—	—	■				
庄原市川北町（350m）				🌱	—	—	—	■				
庄原市東城町（400m）					🌱	—	—	■				
庄原市高野町（800m）						🌱	—	■	■			
庄原市小奴可（800m）						🌱	—	—	■	■		
庄原市東城町（400m）							🌱	—	—	—	■	
三次市向江田町（250m）							🌱	—	—	—	■	
安芸高田市高宮町（250m）								🌱	—	—	—	■



...播種



...収穫期間

---

# 専用播種機やボールグラブなども準備

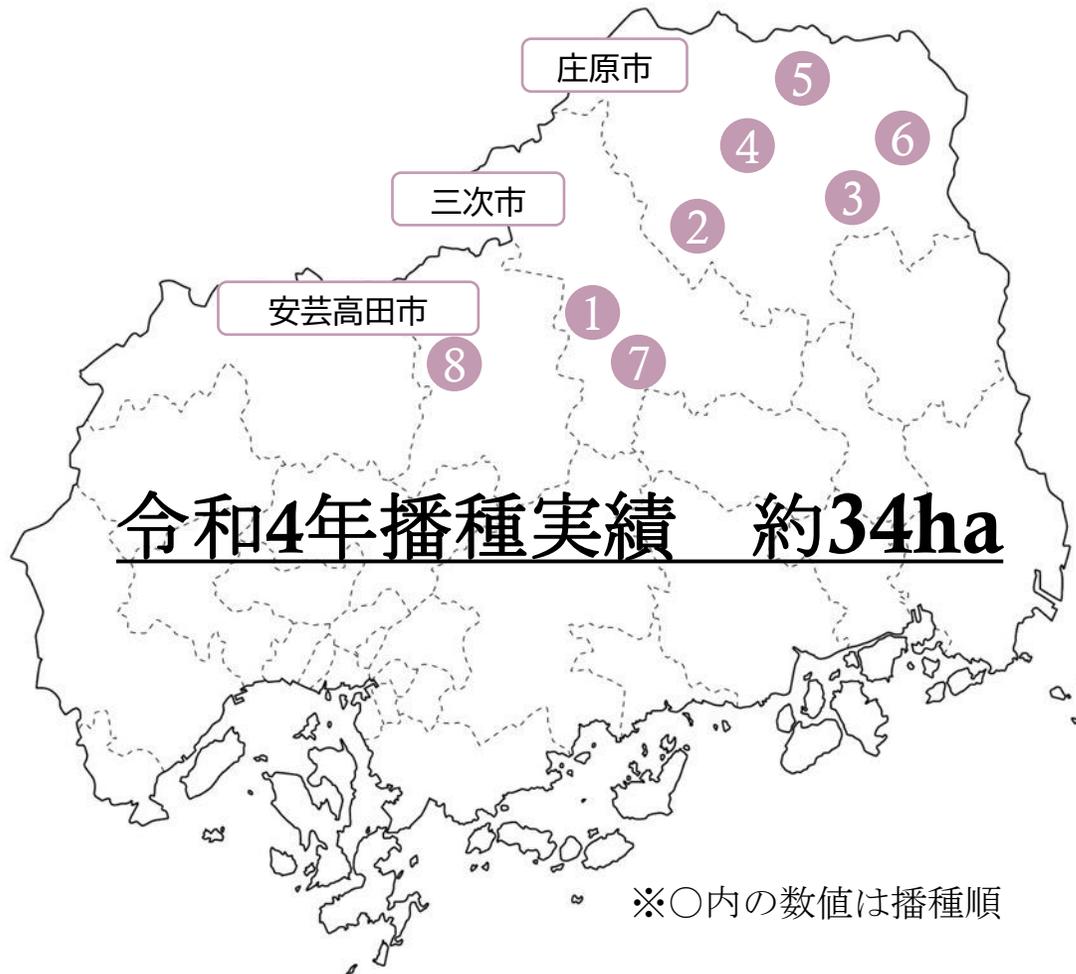
播種機



ボールグラブをつけたタイヤショベル



# ○播種は4月上旬～8月上旬に実施



圃場	播種時期	播種面積
三次市向江田町（菅田）	4月上旬	6.3ha
庄原市川北町	4月中旬	3.4ha
庄原市東城町	5月上旬	0.7ha
庄原市高野町	6月上旬	11.7ha
庄原市東城町小奴可	6月中旬～ 7月上旬	6.5ha
庄原市東城町	7月中旬	1.8ha
三次市向江田町（郷）	7月下旬	1.4ha
安芸高田市高宮町	8月上旬	2.4ha
合計		約34ha



---

# 今年度の栽培管理 について

- 化学肥料の「14-14-14」を投入  
（10aあたり100kg）
- 栽培後に堆肥を2～3 t / 10 a 投入
  
- メイン品種はスノーデント110（雪印種  
苗）
  
- 播種後に除草剤「ブルーシアフロアブル」  
をboomスプレーヤーで散布
  
- 害虫対策は特になし

---

# 収穫間際には背丈2.5メートルほどに成長



ミルクライン



---

# ○収穫は8月1日より開始



---

# 水田圃場では排水対策を

必ずすべての圃場に

**1, 明渠をしっかりと掘る**

**2, プラソイラーを通す** (心土を壊すことで水はけ良く)



---

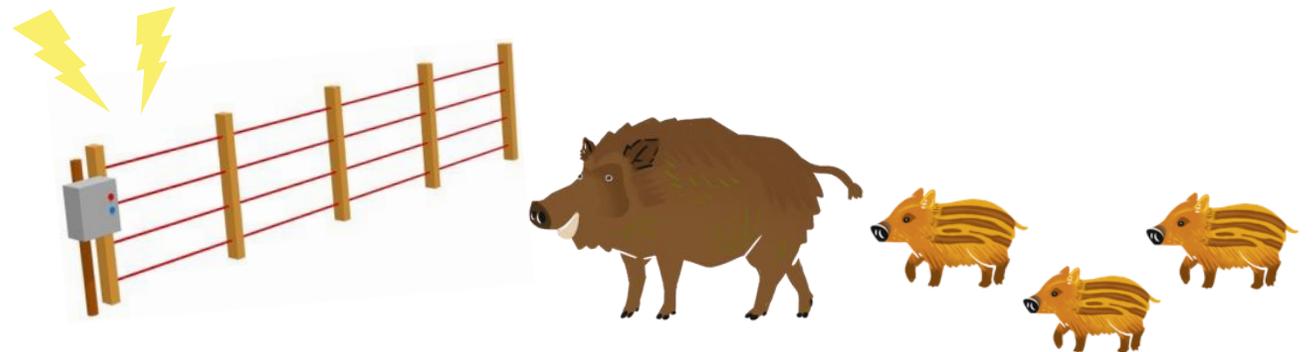
# 課題は台風対策、獣害対策

- ・倒伏しにくい品種、栽培時期・地域の選択
- ・実のなるころに来る、イノシシ対策が課題に！（\*ワイヤーメッシュを掘り上げて入ってくることも。。。）

→電気柵で圃場を囲む



台風被害により  
収穫の  
できなかった圃場



---

# 今年度の商品への評価



・飼料販売会社さんの評価

「検査した成分評価の数値は良さそう」



・酪農家さんからの評価（11月下旬頃）

「先日から実際に食べさせ始めた。香りが良く、牛の食いつきが非常に良い。来年も生産をぜひお願いしたい」



---

# 後作のキャベツの発育も良好！

- ・夏にデントコーン栽培を行った圃場の、秋作キャベツの発育が例年よりとても良い
- ・収量向上が期待できる



---

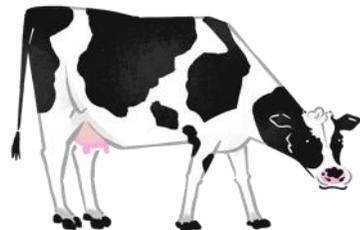
# 次年度に向けて

○デントコーンの栽培面積の拡大（令和5年度40ha）

○デントコーン以外の需要のある飼料作物の栽培（えん麦、チモシーなど）

→畜産農家や飼料会社と協議しながら、地域内の耕畜連携体制をさらに強化し、地域内の資源を循環させていく。

国産は  
違うわね



やっぱり  
vegetaさんのは  
美味しいわね





---

ありがとうございました

| <https://www.vegeta-farm.com/>



vegetacabbage



@hiroshimacabbage